

豊田工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	インターンシップ	
科目基礎情報							
科目番号	92111			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	実習			単位の種別と単位数	学修単位: 4		
開設学科	電子機械工学専攻M			対象学年	専1		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	特に指定しない						
担当教員	兼重 明宏,若澤 靖記						
到達目標							
(ア)業務の内容を、組織上の役割と技術的な内容の両面から理解する。 (イ)配属先の指導者の指示に従って、安全・正確に業務を行うことができる。 (ウ)作業内容と成果を要領よく文章にまとめることができる。 (エ)作業を通じて気が付いた点、自己の反省すべき点を指摘することができる。 (オ)作業内容、自己の習得した事柄を、視聴覚教材等を用いて口頭で発表することができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安(優)		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目(ア)	業務の内容を、組織上の役割と技術的な内容の両面から深く理解できる。		業務の内容を、組織上の役割と技術的な内容の両面から理解できる。		業務の内容を、組織上の役割と技術的な内容の両面から理解できていない。		
評価項目(イ)	配属先の指導者の指示に従って、安全・正確に素早く業務を行うことができる。		配属先の指導者の指示に従って、安全・正確に業務を行うことができる。		配属先の指導者の指示に従って、安全・正確に業務を行うことができない。		
評価項目(ウ)	作業内容と成果を要領よく、簡潔な文章にまとめることができる。		作業内容と成果を要領よく文章にまとめることができる。		作業内容と成果を要領よく文章にまとめることができない。		
評価項目(エ)	作業を通じて気が付いた点、自己の反省すべき点を指摘することができる。改善方法を提示できる。		作業を通じて気が付いた点、自己の反省すべき点を指摘することができる。		作業を通じて気が付いた点、自己の反省すべき点を指摘することができない。		
評価項目(オ)	作業内容、自己の習得した事柄を、視聴覚教材等を用いて口頭で分かり易く発表することができる。		作業内容、自己の習得した事柄を、視聴覚教材等を用いて口頭で発表することができる。		作業内容、自己の習得した事柄を、視聴覚教材等を用いて口頭で発表することができない。		
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 A1 社会の工学に対する要請を認識でき、機械工学との関連を理解している。 JABEE d 当該分野において必要とされる専門的知識とそれらを応用する能力 JABEE f 論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力 JABEE h 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力 本校教育目標 ① ものづくり能力 本校教育目標 ③ 問題解決能力 本校教育目標 ⑤ 技術者倫理							
教育方法等							
概要	機械工学関連の一般企業での職場体験や自治体等が主催するプロジェクトへの参加を通じて、自分の学んだ工学的知識や専門技術が、社会の中でどのように生かされているかを知るとともに、社会の中における技術者のあり方を学び、社会の一員としての自覚や責任感を持たせることを目的とする。						
授業の進め方・方法							
注意点							
選択必修の種別・旧カリ科目名							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☒ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	配属先の業務内容の把握：技術的側面と組織全体での業務役割の理解。		業務の内容を、組織上の役割と技術的な内容の両面からの理解		
		2週	実務作業：設計、研究、製造など。		配属先の指導者の指示に従って、安全・正確に業務を行い、作業内容と成果を要領よく文章にまとめる		
		3週	実務作業：設計、研究、製造など。		配属先の指導者の指示に従って、安全・正確に業務を行い、作業内容と成果を要領よく文章にまとめる		
		4週	実務作業：設計、研究、製造など。		配属先の指導者の指示に従って、安全・正確に業務を行い、作業内容と成果を要領よく文章にまとめる		
		5週	実務作業：設計、研究、製造など。		配属先の指導者の指示に従って、安全・正確に業務を行い、作業内容と成果を要領よく文章にまとめる		
		6週	実務作業：設計、研究、製造など。		配属先の指導者の指示に従って、安全・正確に業務を行い、作業内容と成果を要領よく文章にまとめる		
		7週	実務作業：設計、研究、製造など。		配属先の指導者の指示に従って、安全・正確に業務を行い、作業内容と成果を要領よく文章にまとめる		
		8週	実務作業：設計、研究、製造など。		配属先の指導者の指示に従って、安全・正確に業務を行い、作業内容と成果を要領よく文章にまとめる		
	2ndQ	9週	実務作業：設計、研究、製造など。		配属先の指導者の指示に従って、安全・正確に業務を行い、作業内容と成果を要領よく文章にまとめる		
		10週	実務作業：設計、研究、製造など。		配属先の指導者の指示に従って、安全・正確に業務を行い、作業内容と成果を要領よく文章にまとめる		
		11週	実務作業：設計、研究、製造など。		配属先の指導者の指示に従って、安全・正確に業務を行い、作業内容と成果を要領よく文章にまとめる		

後期		12週	実務作業：設計、研究、製造など。	配属先の指導者の指示に従って、安全・正確に業務を行い、作業内容と成果を要領よく文章にまとめる
		13週	実務作業：設計、研究、製造など。	配属先の指導者の指示に従って、安全・正確に業務を行い、作業内容と成果を要領よく文章にまとめる
		14週	実務作業：設計、研究、製造など。	配属先の指導者の指示に従って、安全・正確に業務を行い、作業内容と成果を要領よく文章にまとめる
		15週	実務作業：設計、研究、製造など。	配属先の指導者の指示に従って、安全・正確に業務を行い、作業内容と成果を要領よく文章にまとめる
		16週		
	3rdQ	1週	実務作業：設計、研究、製造など。	配属先の指導者の指示に従って、安全・正確に業務を行い、作業内容と成果を要領よく文章にまとめる
		2週	実務作業：設計、研究、製造など。	配属先の指導者の指示に従って、安全・正確に業務を行い、作業内容と成果を要領よく文章にまとめる
		3週	実務作業：設計、研究、製造など。	配属先の指導者の指示に従って、安全・正確に業務を行い、作業内容と成果を要領よく文章にまとめる
		4週	実務作業：設計、研究、製造など。	配属先の指導者の指示に従って、安全・正確に業務を行い、作業内容と成果を要領よく文章にまとめる
		5週	実務作業：設計、研究、製造など。	配属先の指導者の指示に従って、安全・正確に業務を行い、作業内容と成果を要領よく文章にまとめる
		6週	実務作業：設計、研究、製造など。	配属先の指導者の指示に従って、安全・正確に業務を行い、作業内容と成果を要領よく文章にまとめる
		7週	実務作業：設計、研究、製造など。	配属先の指導者の指示に従って、安全・正確に業務を行い、作業内容と成果を要領よく文章にまとめる
		8週	実務作業：設計、研究、製造など。	配属先の指導者の指示に従って、安全・正確に業務を行い、作業内容と成果を要領よく文章にまとめる
	4thQ	9週	実務作業：設計、研究、製造など。	配属先の指導者の指示に従って、安全・正確に業務を行い、作業内容と成果を要領よく文章にまとめる
		10週	実務作業：設計、研究、製造など。	配属先の指導者の指示に従って、安全・正確に業務を行い、作業内容と成果を要領よく文章にまとめる
		11週	実務作業：設計、研究、製造など。	配属先の指導者の指示に従って、安全・正確に業務を行い、作業内容と成果を要領よく文章にまとめる
		12週	実務作業：設計、研究、製造など。	配属先の指導者の指示に従って、安全・正確に業務を行い、作業内容と成果を要領よく文章にまとめる
		13週	実務作業：設計、研究、製造など。	配属先の指導者の指示に従って、安全・正確に業務を行い、作業内容と成果を要領よく文章にまとめる
		14週	報告書の作成：作業内容、インターンシップから習得した事柄、反省点等の記述。	作業を通じて気が付いた点、自己の反省すべき点をまとめる
		15週	報告書の作成：作業内容、インターンシップから習得した事柄、反省点等の記述。	作業を通じて気が付いた点、自己の反省すべき点をまとめる
		16週	報告会でのプレゼンテーション：上記(1)～(3)の内容をまとめ、限られた時間内で視聴覚機材を用いて報告会を行う。	作業内容、自己の習得した事柄を、視聴覚教材等を用いて口頭で発表する

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
	実習報告書		実習報告会発表	インターンシップ内容	合計
総合評価割合	30		30	40	100
分野横断的能力	30		30	40	100